



# 貴志川線の未来を“つくる”会

VOL 5  
2009.6

発行／貴志川線の未来を“つくる”会 発行者／濱口 晃夫  
〒640-0361 和歌山市伊太祈曽558 TEL 073-478-0053

## 20年度決算

# 運輸収入・輸送人員とも3年連続増

### 輸送人員は219万人に

和歌山電鐵は5月20日開催した取締役会において平成20年度決算を承認しました。

20年度決算発表によると、20年度運輸収入は前年度比104.2%増の3億3713万6千円で前年より1362万円の増加となりました。

輸送人員は、前年度比103.4%増の219万人で前年より7万2000人増となり、運輸収入、輸送人員とも和歌山電鐵発足以来3年連続して前年度比増とさせることができました。

運輸収入では、定期外が前年度比6%の増で「たま駅長」効果と言えます、定期では通勤定期が前年度比3.4%の増、通学定期が前年度比0.5%の微減となっていますが比較的順調に推移しています。

この結果、20年度の経常損益は3990万円

の赤字、これに前期繰越損失2948万円を加えた最終当期損失でも6939万円の赤字となりましたが、和歌山・紀の川両市の8200万円を上限とする運営補助金の範囲内で損失を抑えることができました。

### 開業経費償却し終える

また、今回の決算で約7700万円の開業経費は20年度で償却し終え、3年間で解消することが出来、次期繰越損失はゼロとなりました。

和歌山電鐵では、20年度決算において、経営状態の改善に大きく前進したとしていますが、今回運営補助金を全額使わずに決算することが出来たこともあり、老朽施設の改修など大規模な設備投資への支援を各方面に要望していきたいとしています。

貴志川線の未来をつくる会

## 21年度 新規 継続 入会受付中です

引き続き貴志川線の発展へ活動を続けてまいります。

21年度会費の納入につきましてご協力いただきますようお願い申し上げます。

■会費 年額1,000円 (期間:加入日に関わらず2010年3月31日まで)

■納入方法 郵便局振込み 口座番号:00960-1-277944

〔事務局〕和歌山市伊太祈曽558 伊太祈曽神社内(9:00~17:00)

和歌山駅9番ホーム 7月3日(金)、4日(土)、5日(日)15:00~19:30

## 利用者住民の熱意をさらに熱く



貴志川線の未来を“つくる”会 代表 濱口晃夫

早いもので貴志川線の未来を“つくる”会の会報も第5号を出すことになりました。5年前の9月、廃線濃厚となっていた貴志川線を存続させるべく、“つくる”会が発足し、色々と厳しい状況の中、会員の皆様を始め多くの方々のご支援ご協力ご努力のお陰で、和歌山電鐵により新生貴志川線が誕生し、現在に至っています。

私たちは運営会社『和歌山電鐵』と共に存続から永続に向かって活動を続けてきました。発足当時、乗客を一人でも増やそうと『乗って残そう貴志川線』のキャッチフレーズのもと活動をしましたが、新生貴志川線誕生後は、更に進め『もっと!ずっと!貴志川線』をキャッチフレーズに『日本一心豊かな貴志川線』を目指し、利用しやすく楽しい電車とするために活動を続けています。年間50にも及ぶ種々イベント等を行いましたし、利便性を

良くする為にダイヤ改正も行いました。お陰で運営は順調で乗客数は南海の最終年、平成17年度は年間192万人でしたが、昨年平成20年度は219万人まで回復いたしました。

これらの活動をするに当たり、和歌山電鐵には他の鉄道会社には無い組織『貴志川線運営委員会』があり、この委員会で話し合い実行しています。会のメンバーは、和歌山電鐵、和歌山県、和歌山市、紀の川市、貴志川商工会、和歌山商工会議所、沿線高校長、生徒会長、育友会長、住民代表として貴志川線の未来を“つくる”会、和歌山の交通まちづくりを進める会などです。委員会には時により他の団体や報道関係の方も出席されることがあります。

この組織や活動がいま全国的に注目され、色々なところから問い合わせもあります。国レベルにおいても、地方鉄道支援の法整備が行われていますが、その基礎資料として貴志川線の活動、特に住民運動が取り上げられています。例えば平成19年10月に施行された『地域公共交通の活性化及び再生に関する法律』があります。

貴志川線では、この法に基づき色々な補助要望を出していますが、認められるかどうか、一番問われるのは、利用する住民の熱意、どれだけ本気なのかが問われます。

貴志川線を永続させるためには、経営努力は勿論ですが、国や県行政からの支援が必要です。その為には皆さん方の熱意をさらに熱く示して頂きたいと思えます。声を上げてください。

“つくる”会では第二、第四土曜日の夜役員会を開いています。一度見に来てくれませんか。一緒に活動をお願いします。

### 21年度役員名簿

(平成21年6月13日第5回役員会確認)

役職	名前
代表	濱口晃夫
副代表	奥重視
事務局 局長	奥山和生
事務局次長 (総務担当)	奥重貴
事務局次長 (企画担当)	堀内建作
会計	堀瑛
監査	山本好延
監査	中西充子

(紙面の都合で幹事は省略させていただきます)

## 一緒に活動しましょう

役員会は月2回(第2、第4土曜日 19時から)開催しています。どなたでも出席いただけます。ご連絡お待ちしております。

代表 濱口晃夫まで

☎0736-64-6866



和歌山電鐵は開業から4年目を迎えましたが、会社設立時から岡山電気軌道とともに和歌山電鐵の代表取締役専務を務め、経営にあたられている磯野省吾さんに、3年間の振り返りつつ、今後の経営方針などについてお聞きしました。

# 補助をもらわなくても自立して運営できるようにしていきたい



和歌山電鐵常務取締役 磯野省吾さん

近い赤字なので、その本業の部分で赤字を縮めないといけないと思っています。運営補助金は上限8200万円なので、1200万円縮めることが出来たのですが、今後は本業の赤字を減らしていくことが一番の目標であり、そのためには利用者を250万人にすることが必要となります。補助をもらわなくても自立して運営できるようにしていきたいというのが目標です。

—和歌山電鐵開業4年目を迎えましたが、創業以来の3年間の振り返りのお気持ちは

まず思うのは地域の方が応援して下さい、この3年間連続して成績が伸びたということも嬉しいのですが、やはり一番は、地元の方が貴志川線は自分たちの線路だ、こんな電車があるんだよとか、こんなこともやっているんだよ、という誇りを皆さんが持ってくれたことが一番嬉しかったことですね。

—貴志川線を経営するに当たって、一番心がけておられることは

やはり「安全」ですね。ただ大規模な設備投資などは財政面から中々出来ない現状にあります。皆さんに乘ってもらい、イベントと一緒にやって、お客さんが増え収入がアップしたことによって、昨年度前倒しで一定の改修工事を行うことが出来ました。今年度も収入を増やし、前倒しで改修工事ができるようがんばっていきたくと思っています。

—20年度決算は3年連続して収入、乗車人員とも増加という好成績となりましたが、どのように見ておられますか。

3年連続増ではあるんですが、鉄道事業では7000万円

—利用者250万人達成に向けての具体的な対策という案は

貴志川線の運営を引き受けて先ずやろうとしたことは、皆さんが誇りに思え、シンボルになるようなもの、目に見えて判るものとして「いちご電車」を作りました。電車と駅の改修をしたいというのが最初からの構想でしたから、駅で何かがあるとか、電車に乗って楽しめるとか、貴志川線内で1日が過ごせるようにしたいと思っています。

車両改修では、通勤通学のお客様から座席について色々とお意見を頂いておりますが、観光のお客様にも貴志川線に来て頂かなければ存続が危ぶまれることも確かです。どちらかに偏るといことのないよう、バランスをとりながらやっていきたいと思っています。

今後の車両改修では、いつか「究極の通勤電車」を作りたいと思っています。

そんな夢も実現できるよう、社員一同、奮闘してまいりたいと思っています。

—最後に自立経営に向けて今年度是非やりたいことをお聞かせ下さい。

貴志駅の改修と、各駅の駐輪・駐車場の改修・整備を行い、利用して頂きやすい鉄道にしていきたいと思っています。今年度も皆様のご協力をお願いします。

## 貴志川線運営委員会とは

貴志川線の永続的運営を目的に設置され、貴志川線の利用促進、および沿線のまちづくり等について各団体代表が参加して毎月一回開催し協議、調整を行っています。

県、和歌山・紀の川両市、商工会議所・商工会、学校、PTA、生徒会代表、つくる会など市民団体、和歌山電鐵などで構成され、順調な経営に大きく寄与しています。



## 平成21年度（2009年）貴志川線の未来をつくる会

# 活

# 動

# 計

# 画

地域の宝「貴志川線」の灯をいつまでも  
ともし続けるために今年も力を合わせます

### はじめに

平成18年（2006年）4月1日、大きな喜びの中で迎えた和歌山電鐵貴志川線出発式から丸3年を経過し、早や4年目を迎えることとなりました。

この間、和歌山電鐵は地域の皆様から多くの協力をいただき誕生した「いちご電車」、「おもちゃ電車」に続き本年3月21日運行を開始した「たま電車」、「たま駅長」など数々の話題をつくりながら順調な経過をたどり、今や全国の地方鉄道再生モデルとして評価をいただくまでに至りました。

この順調に推移する経過の中では、行政の支援と協力、そして厳しい環境の中でがんばっておられる和歌山電鐵社員の努力があることも忘れてはなりません。

順調な推移の中で4年目を迎えることになりました

が、依然として赤字経営に変わりはなく、経営基盤の確立には一層の努力が求められています。「和歌山電鐵・貴志川線」はこれからも私たちの地域に絶対必要な無くしてはならない公共交通手段として、また現在大きな課題となっている「環境」の立場からも、永続させ活用し、街づくりと結合させて発展させていかねばなりません。

本年度も「貴志川線の未来をつくる会」は存続から永続へ向けて、和歌山電鐵の掲げる「日本一心豊かな貴志川線」の発展を願う住民組織として、住民の声を代表して「もっと！ずっと！貴志川線」を合言葉に貴志川線の利用促進と、掲げる目標実現を目指して会員の皆様の参加の下で地道に、積極的に活動を行っていきます。

### 1 貴志川線をめぐる状況

住民の大きな期待を担って発足した「新生貴志川線」は、本年度で4年目を迎えました。南海時代192万人にまで落ちていた利用者を毎年増加させ、20年度は対前年比103.4%の219万人となり、新生貴志川線発足3年間で実に27万人を増加させることができました。また収入においても毎年前年比増を果たし、20年度も対前年比104.2%という好成績を収めることができました。

20年度決算は経常損益は3990万円の赤字、これに前期繰越損失2948万円を加えた最終当期損失では6939万円の赤字となりましたが、和歌山・紀の川両市の8200万円を上限とする運営補助金の範囲内で損失を抑えることができました。

また、今回の決算で約7700万円の開業経費は20年度で償却し終え、3年間で解消することが出来、次期繰越損失はゼロとなりました。

しかし一方、「少子高齢化」「モーターゼーション」

が進む中で通学定期客の微減などの懸念材料も見られませんが、さらに貴志川線の施設は老朽化しており、今後ポイント、道床、架電柱、変電所など鉄道施設の大規模な改修に要する施設投資が必要であり、順調に推移しているとはいえ、貴志川線をとりまく環境は相変わらず厳しいことに変わりありません。

さいわい貴志川線には行政各機関、関係団体、学校関係などで構成する「貴志川線運営委員会」が設置され、有機的な連携、支援のもとでその運営が行われ大きな成果を収めており、国土交通省の地方鉄道再生のモデルとして大きな評価を頂いています。

また、一昨年10月1日施行された「地域公共交通の活性化および再生に関する法律」に基づく「和歌山電鐵貴志川線・地域公共交通活性化再生協議会（略称－法定協議会）」が運営委員会構成団体を主体に設置され、国の補助事業として貴志川線の持続的な発展と、魅力ある貴志川線をめざした各種取り組みが順次実施されております。

## 2 基本方針

貴志川線の未来をつくる会は、その活動の目的を「和歌山電鐵伝貴志川線が、環境に優しく利用しやすい鉄道として発展していくことを願って関係機関と連携して活動をする事、及び沿線住民等への啓発活動を目的とする」と会則に掲げています。

本年度も、この掲げる目的に基づき、その実現、推進のため和歌山電鐵貴志川線の応援団として、街づくりと結合させ、出来ることからみんなで取り組んでいくという結成以来の作風を引き継ぎ、本年度も次に掲げる活動に取り組みます。

## 3 中長期目標

### (1) 大池遊園駅の電車対向施設復活

伊太祈曽駅以東は電車の対向施設が無いため、現在は30分に1本の運行が限界です。昭和50年ごろまで存在していた大池遊園駅の対向施設を復活させ、伊太祈曽～貴志間の電車本数増発を可能にします。

### (2) 日前宮～神前駅に新駅設置（津秦付近）

日前宮～神前駅間には、かつて「津秦」という駅が存在していました。付近には菅原道真公ゆかりの津秦天満宮や病院があり、近年は住宅地として発展しており、十分な利用者が見込まれます。

### (3) 利用促進へ貴志川線祭りなどのイベント開催と沿線の魅力発信に取り組みます

「貴志川線祭り」を始めとして、利用促進のイベントを企画・開催します。  
マイレール、マイステーション意識向上のため駅の清掃、美化作業とマナー向上などの取り組みを行います。  
また、貴志川線の持つ魅力発掘と情報発信に取り組みます。

### (4) 駅設備の改善に取り組みます

バリアフリー化やトイレ施設など、駅設備の改善に取り組みます。

## 4 具体的な取り組み

### (1) 住民の声と想いを結集できる「つくる会」を創り、発展させる行動に取り組みます

- ① 会員数3000名以上をめざして、あらゆる機会に入会を呼びかけます
- ② 登録スタッフの拡大と活動参加に取り組みます
- ③ 総会に代わるものとして「活動報告会」（仮称）を開催します
- ④ アンケート等を実施し、会員・利用者の要望集約を行い、和歌山電鐵や運営委員会に反映し改善を図っていきます
- ⑤ ホームページ、貴志川線ニュース、会報などを通じ広報・啓発活動に取り組みます
- ⑥ 活動の発展へ役員会の定期開催を引き続き実行します
- ⑦ 地域の様々な行事、イベント、祭りに積極的に参加して、会のPR、啓発行動を行います

### (2) 貴志川線永続へ利用促進活動に取り組みます

- ① 利用促進へ各種イベントの開催などに引き続き取り組みます
- ② 地元住民の利用促進のための取り組みを進めます
- ③ 貴志川線のシンボル車両の魅力発信に取り組み、お客様の誘致に努めます
- ④ JRや企業、各種団体との連携・協働に取り組みます
- ⑤ 第5回「貴志川線祭り」の開催と成功を目指します
- ⑥ 多客期に駅への応援活動を行います（混雑防止、お客さまへの案内等）
- ⑦ マイレール、マイステーションへ駅の美化活動（清掃・花植栽・塗り替えなど）に多くの会員の参加を求めて引き続き取り組みます
- ⑧ 「日本一心豊かなローカル線」へマナー向上の取り組みを行います
- ⑨ 「さくら街道 貴志川線」をめざす桜の植樹活動に引き続き取り組みます

### (3) 地方交通線の存続・活性化へ学習・政策活動に取り組みます

- ① 学習会、シンポジウムなどの開催、参加に取り組みます
- ② 地方鉄道活性化に取り組む関係団体との交流活動に取り組みます
- ③ 交通政策に関わる学習と資料の収集、活用に取り組みます



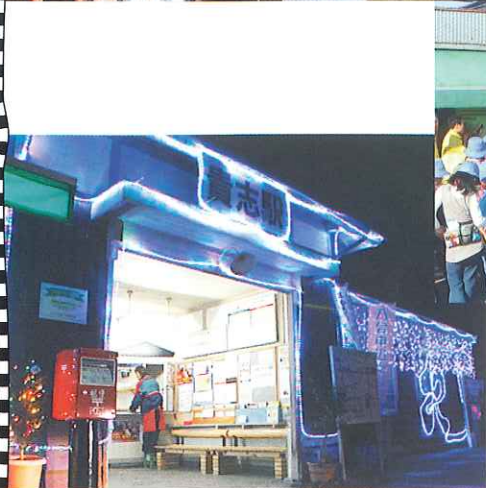


◀ '08.10.18  
鉄道記念日イベント  
「たま電車デザイン  
発表祭」に2500名

▼ '08.11.30  
第13回駅清掃 貴志駅、  
甘露寺前駅に71名参加



▲ '08.6.28  
会報、会費納入依頼書発送作業に45名  
参加



▲ '08.12.6~' 09.1.19  
貴志駅イルミネーション  
毎年バージョンアップしています



▲ '08.11.30  
JR 福知山線フォーラムに事例発表と  
展示で参加

つくる会  
活動報告  
vol.5



第4回貴志川線に乗ってのたけのこ掘り体験(12/4/19)

▲ '09.4.19  
第3回「貴志川線に乗ってたけのこ掘り」  
に110名。今年は沢山採れました



▲ '09.2.8  
JR 和歌山支社に案内設備改善などで要望、  
前向きな回答をいただく



▲ '09.2.11  
「わかやま元気1万人フェスタ」  
に参加、元気な貴志川線をア  
ピール



◀◀ '09.6.7  
第2回「貴志川線に乗っ  
てじゃがいも掘り」甘露  
寺前  
755名が応募、340名が当  
選し参加して頂きました



▶ '09.3.21  
「たま電車」祝う「第  
4回貴志川線祭り」  
に7000名



◀ '09.4.29と5.2~6  
大型連休に貴志駅で、  
案内・整理行いました  
延べ30名参加



2008年度

# 貴志川線の未来をつくる会 会計決算報告

2008年4月1日～2009年3月31日

## 会費はこのように使わせていただきました

2009年4月25日開催の第2回役員会において、2008年度（平成20年度）決算について承認しましたのでご報告いたします。

- 収入は、2008年度会員2417名の会費と、前年度繰越金および寄付金、貴志川線祭り出店収入、和歌山電鐵グッズ販売手数料、預金利息等です。
- 支出は、各種行動については役員、会員のボランティア活動をお願いし、極力節減を図ってまいりました。昨年度中に「貴志川線祭り」が2回開催されたため、事業費が昨年を大きく上回りましたが、支出全体では昨年を若干上回る程度で決算することができました。
- 繰越金の処理について  
169万2801円全額を次期会計に充当します。
- 「基金」および「特別会計」について
  - ①「貴志川線整備基金」について、行政の補助が10年間と限定されており、また貴志川線の施設、車両の老朽化が進んでいることから将来に備えて、昨年から積み立てているものです。
  - ②「ニュース和歌山25周年記念助成金」について ニュース和歌山社様から昨年度（19年3月12日）にいただいたものです、その用途を明らかにするため「特別会計」を設けて管理しています。

## 2008年度決算報告

### 〈収入の部〉

科 目	金 額	摘 要
前年度繰越金	1,316,636	2007年度繰越金
会 費	2,417,000	2008年度会員 @1,000円×2,417名
雑 収 入	477,000	寄付金(11名様)、貴志川線祭り出店、グッズ販売手数料、預金利息等
合 計	4,210,636	

### 〈支出の部〉

科 目	金 額	摘 要
通 信 費	812,438	はがき、切手代(会費納入・貴志川線祭り案内・年賀状送付等)、電話料金、各種印刷物郵送等
郵 便 振 込 料	183,040	会費振込料(つくる会負担)1,567名分
事 業 費	915,770	貴志川祭り、駅美化、イルミネーション、イベントガイド作成、じゃがいも掘り、会費徴収請費等
広 告 宣 伝 費	217,095	のぼり、ポール代、インターネット費用、チラシ、垂れ幕等
事 務 費	223,225	役員会会場費、宛名シール、メガホン購入、各種文具、コピー代、名刺代等
協 賛 金	130,000	貴線祭協力金(3万円)、たま電車サポーター100口(10万円)
予 備 費	36,267	渡辺常務転勤記念品
合 計	2,517,835	

### 〈決算内容〉

収 入	4,210,636
支 出	2,517,835
次年度繰越金	1,692,801

### 〈繰越金内訳〉

普 通 預 金	1,430,824	(紀陽銀行国体道路支店)
現 金	261,977	
合 計	1,692,801	

### 〈基金内訳〉

定 期 預 金	2,507,020	貴志川線整備基金(紀陽銀行国体道路支店)※2/27利息 7,020円含む
---------	-----------	--------------------------------------

### 〈特別会計内訳〉

普 通 預 金	1,501,926	ニュース和歌山25周年記念助成金(ゆうちょ銀行 友田郵便局) ※3/31利息 1,926円含む
---------	-----------	--

(「会計監査報告」は次頁をご覧ください)

# たま駅長から 会員のみなさまへ



みなさん こんにちは。  
貴志駅駅長のたまです。せっかくの機会を  
いただいたので近況報告させていただきます。



今年の大型連休は、たま電のデビューもあって貴志駅は大変な人出でしたが、ここにきてようやく落ち着いてきたように思います。連休の間は、「つくる会」のみなさんが交代で、場内整理や案内をしてくださいました。なかでも、改札口の混雑を避けるために順路をつくって写真撮影の順番待ちをしてもらったのは、お客様の評判もよく、本当に良いアイデアだったと思います。おかげで、私たちもお客様同士の争いや罵声を聞くことも少なく、安心して業務に励むことができました。でも、ほとんど寝てましたけど、.....

5月の後半は、新型インフルエンザの発生の影響が心配されました。さすがに大阪で感染者が見つかったときは貴志駅も閑散として、心配でした。でも、ほとんど寝てましたけど、.....

6月に入って、これも直ぐに落ち着きました。よかったです。さて、みなさんがいつも質問されることにお答えします。

まず、一番多いのは、「たま駅長は、改札口に座っていないの?」です。

駅長室ができるまでは、改札口で皆さんをお迎えしていましたが、あまりの面会者の多さに改札が渋滞してしまうのと私たちのストレスを心配してくれて、和歌山電鉄さんが「勤務は駅長室で」というルールを作ってくださいました。TVなどで流れる映像とは違うのでご不満の方も多いようですけど、ご理解をお願いします。おかげで、ゆっくり寝ていますけど。(こらこら!)

二番目は、「いつも寝てるけど、いつ起きるん?」です。駅長といっても、本来はネコですから、いつも寝ているのがフツーなんです。食事の前後は、一番大事な時間なので起きていますけど、午前10時ぐらいから午後3時ぐらいまでは一番眠たい時間なんですね。時々、おやつで小山のお母さんやパパさんが何回か起こしてくれることもありますけど。

最近、「寝顔がかわいい」といってもらえることもありますけど、ごめんなさい。

三番目は、「お風呂に入るから、いつもキレイなの?」です。基本的に水に濡れるのはキレイなので、ドライシャンプーとブラッシングで手入れをしてもらっています。でも、外で遊ぶことはないで、自分で毛づくろいするだけでキレイになりますよ。

と、まあそんな感じです。

次の多忙なシーズンは、学校の夏休みでしょうか。もっと多くの人たちが貴志川線に乗って、私たちに会いに来てくれますように祈りたいです。でも、多分、寝てますけど。



## 会計監査報告

2009年5月9日

貴志川線の未来を“つくる”会

代表 濱口晃夫 殿

監査 山本好延 (印)

監査 中西亮子 (印)

貴志川線の未来“つくる”会 会則第6条第8項にもとづき2008年度(平成20年度)会計監査を実施したので、下記により報告します。

記

1. 監査実施日 2009年5月9日
2. 監査場所 貴志川線の未来をつくる会事務局
3. 監査対象 2008年度会計
4. 監査期間 2008年4月1日～2009年3月31日
5. 監査の結果 帳簿・証拠書類等が、正確かつ適正に処理されていることを認めましたので報告いたします。

以上

編集

お伝えせねばならない情報は多いのですが、紙面の都合で充分でないことが心残りです、今回初めてつくる会の活動計画を掲載しました、皆さんと力を合わせて着実に実行していきたいと思ひます。

後記

「たま駅長」から素晴らしい写真とメッセージを寄せていただきました。今年度も駅長業務がんばって下さいね。会員の皆さんに「ちょっぴり」をプレゼント。会報と一緒に「たまちゃんポストカード」をお届けします。(和)